

全国障害者問題研究会

第60回全国大会

in 滋賀

とき 2026年 8月1日(土) 2日(日)

会場

8月1日 全体会

大津市民会館

滋賀県大津市島の関14-1

JR 大津駅から徒歩10分

京阪石坂線 島ノ関駅から 徒歩3分
(島ノ関駅にはスロープがありません)

京阪びわ湖浜大津駅から 徒歩10分

8月2日 分科会・学習講座

大津市民会館・大津公民館

*住所・アクセスは大津市民会館と同じ

ピアザ淡海

滋賀県大津市におの浜1丁目1-20

京阪石坂線 石場駅から 徒歩5分

コラボしが 21

滋賀県大津市打出浜2-1

京阪石坂線 石場駅から 徒歩3分

明日都浜大津 (ふれあいプラザ・大津市民活動センター)

滋賀県大津市浜大津4丁目1-1

京阪びわ湖浜大津駅前

旧大津公会堂 滋賀県大津市浜大津1丁目4-1

京阪びわ湖浜大津駅から徒歩3分



大会テーマ

深呼吸 そして一歩

互いに語り合い、耳を傾け合うなかで、一人の「ねがい」をみんなの「ねがい」と紡いできた60年。その歩みに学び、いま、あらためて本当の「ねがい」とは何かを「あなた」と共に確かめ、すべての人の人権が守られる社会へ向けて一歩を踏み出しましょう。

後援
協賛

滋賀県/滋賀県教育委員会/滋賀県社会福祉協議会/大津市/大津市教育委員会/大津市社会福祉協議会

日本障害者協議会/障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会/きょうされん/全国肢体障害者団体連絡協議会/全国手話通訳問題研究会
/全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会/全国心臓病の子どもを守る会/全日本視覚障害者協議会/全日本ろうあ連盟/日本自閉症協会
/日本知的障害者福祉協会/日本てんかん協会/人間発達研究所/公益財団法人ひかり協会

主催

全国障害者問題研究会

162-0801 東京都新宿区山吹町4-7 新宿山吹町ビル5階

TEL 03-6265-0193

FAX03-6265-0194

大会専用メール shiga60@nginet.or.jp

参加申込はこちらから

全障研HP <https://www.nginet.or.jp>



全障研第60回全国大会 in 滋賀 準備委員会

全国障害者問題研究会は、障害者の権利を守り発達を保障することを目的に1967年に結成されました。一人ひとりの「ねがい」を大切に紡いできた60年目の今夏、滋賀県大津市で全国大会を開催します。被爆80年であった昨年の広島大会では、みんなで平和の尊さを確かめあいました。それから1年、平和をとりまく状況はますます深刻になっています。だからこそ、誰一人取り残されることなく、かけがえのない命、よりよく生きたいというあたりまえのねがい、人権が大切にされる社会にしていかなければと強く思います。

「この子らを世の光に」(糸賀一雄)がうまれた地で、互いの「ねがい」に耳を傾けあう大会にと準備を進めています。当事者、ご家族、支援者、関係者の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

全国障害者問題研究会第60回全国大会in滋賀 準備委員長 白石恵理子(滋賀大学名誉教授)

大会日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
8/1 (土)				受付		全体会			(全国総会)	
						保育・なかまのつどい				
8/2 (日)	受付		分科会	昼食		分科会				
			学習講座	昼食		学習講座				
						保育・なかまのつどい				

8月1日(土) 全体会(大津市民会館)

*後日、録画配信の視聴ができます(8/10~9/30)

12:00 受付

12:40 オープニング
湖南ダンスカンパニー

13:00 開会

基調報告 全障研常任全国委員会

重点報告 子の自立・親の自立と“暮らしの場”

和田 泰代 さん(滋賀県在住)

13:45 記念講演

えん罪問題から浮かび上がった
障害のある人の人権保障

井戸 謙一 さん(弁護士)

1954年大阪府生まれ。東京大学教育学部卒業。元裁判官。「裁判官は事件を裁くことによって自らが裁かれる」と、志賀原発2号機運転差止判決などを出す。2011年から弁護士。湖東記念病院事件で殺人罪を問われ、12年間服役した西山さんの再審での弁護団長。西山さんは無罪が確定。

14:45 休憩

15:15 文化行事

抱きしめよう みんなのねがい
~滋賀の地から伝えたいこと~

16:00 大会ガイダンス・諸連絡等

16:15 閉会

8月2日(日) 分科会

9:15 受付 分科会 9:30~16:30

*分科会の会場については7月30日以降にWEBページにて
ご確認ください。

8月2日(日) 学習講座 (ピアザ淡海)

*後日、録画配信の視聴ができます(8/10~9/30)

10:00~11:30

① 発達保障の道ゆき ~歴史に学び、明日を創る~
白石 正久 さん(龍谷大学名誉教授)

白石 恵理子さん(大会準備委員長・滋賀大学名誉教授)

11:30~13:00 昼食

午後の部 <誰もが自分らしく豊かに生きるために>

13:00~14:00

② 子どものねがい・家族の思いを紡ぐ
~就学前から学齢期へつなぐ~

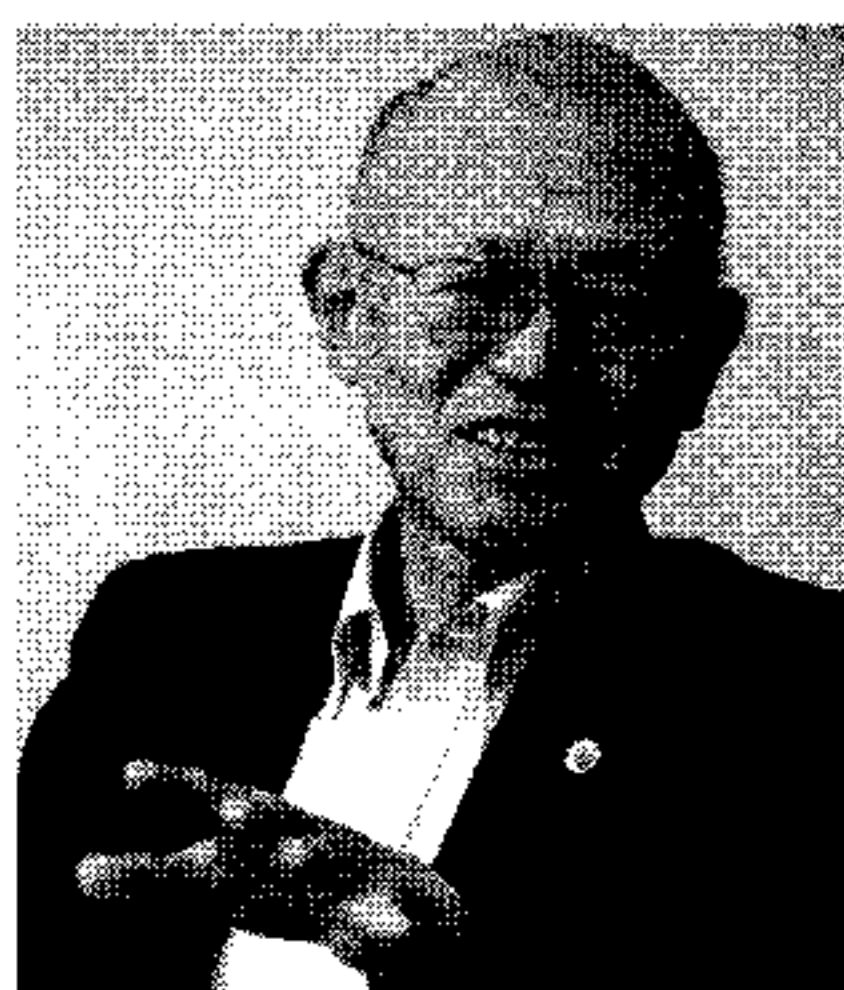
西原 睦子 さん(大津市発達相談員)

14:15~15:15

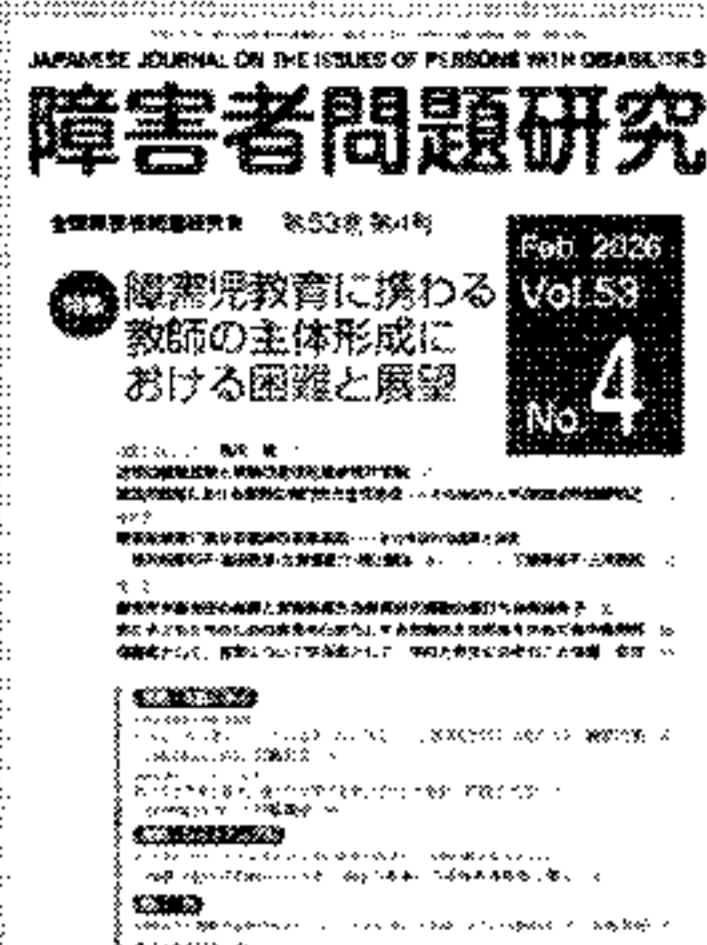
③ みんなのハートに火を灯す
~なかま、家族、職員、地域のねがいをつなぐ~
野村 真愛 さん(おうみ福祉会施設長)

15:30~16:30

④ 長生きしたい人生
~重度知的障害のある人が自分の生きたい人生を生きる~
坂本 彩 さん(支援者)・横川 豊隆 さん(当事者)



全障研の月刊誌
「みんなのねがい」



全障研の研究誌
「障害者問題研究」

全障研の出版物
オンライン注文



■分科会一覧

*分科会名称については変更になる場合があります。
*申込者数やレポート数の関係で分散会を設置することがあります。

分科会名		主な内容
◇乳幼児期の実践		
第1	早期発見・対応、地域療育システム	母子保健・地域保健、健診、親子教室、児童発達支援センター・事業、子育て支援、相談支援など
第2	保育所等および専門施設における保育・療育の実践（1）発達のおくれ、知的障害ほか	発達のおくれのある子どもの理解と保育実践、あそび、集団づくりなど
第3	保育所等および専門施設における保育・療育の実践（2）自閉スペクトラム症、発達障害	自閉スペクトラム症、発達障害のある子どもの理解と保育実践、コミュニケーション、集団保育と個別のかかわり、あそび、育児相談など
第4	保育所等および専門施設における保育・療育の実践（3）肢体不自由・重症児	肢体不自由や重い障害のある子どもの保育・療育、あそび、訓練、医療的ケア、職種間の連携など
◇学齢期の実践		
第5	通常学校における教育（通級指導を含む）	通常学校・学級における教育実践、通級指導の実践、校内支援体制、コーディネーター、巡回相談など
第6	障害児学級の実践、交流・共同教育、障害理解学習	授業、教材、集団編成、教育課程、通常学級や通級との連携、学び合い、育ち合う交流、共同教育、障害理解学習、自分理解学習など
第7	障害児学校の実践（1）幼稚部・小学部	幼稚部・小学部の授業、教材、集団編成、教育課程、学部や職業コース等の連携など
第8	障害児学校の実践（2）中学部・高等部	中学部・高等部の授業、教材、集団編成、教育課程、学部や職業コース等の連携など
第9	放課後保障と地域生活	放課後デイや学童保育の実践、子ども理解、集団づくり、事業所運営、地域や学校との連携など
◇青年期、成人期の実践		
第10	学ぶ、楽しむ、文化活動	青年期の発達と教育、教育年限延長、専攻科の実践、社会教育、生涯学習、音楽や演劇、絵画などの活動、余暇活動の場づくりと制度化
第11	働く	就労保障と所得保障、働きがい・生きがい、仕事内容、作業所・施設づくり、地域との連携など 企業における支援など
第12	障害の重い人の生活と支援	重度重複障害、「強度行動障害」、重度知的障害など、障害の重い人たちへの支援と活動づくり、施設や制度の整備など
第13	暮らしの場での支援	グループホームや生活施設での実践、ショートステイ、職員体制、生活づくり、通院や買い物支援、制度の改善など
第14	地域での生活と支援	自立へのねがい、所得保障、相談支援、ヘルパー、ボランティア、家庭生活、子育てなど
◇ライフステージを貫く実践と課題		
第15	重症心身障害、肢体不自由のある人たちの生活と発達	重症心身障害、肢体不自由のある人たちへの実践健康状態の把握、姿勢、摂食、要求表現、感覚、模倣、コミュニケーション手段、自立活動、訪問教育など
第16	知的障害のある人たちの生活と発達	子ども理解と教育実践、教育課程、個別の指導と集団づくり、青年期の発達など
第17	自閉スペクトラム症、発達障害の人たちの生活と発達	発達とライフステージを見通した実践、「問題行動」や「こだわり」のとらえ方、個別の指導と集団、障害特性と実践、障害の発見、学校や進路の選択、就労、大学教育など
第18	障害のある人の性と生	性的にも健康に人間らしく生きる権利、自慰、恋愛、年齢や発達、障害に応じた教育や支援の実践交流、性教育攻撃の動向など
第19	障害者運動	社会保障制度の動向、介護保険と障害者福祉、権利条約・総括所見と課題、「基本合意」実現をめざす運動、参政権、成年後見など
第20	親、きょうだい、家族	きょうだいの悩み、親の悩み、成年後見、ケアの社会化など
◇特別分科会		
特別1	特別1 インクルーシブ教育と教育条件整備	インクルーシブ教育、学校や学級の新增設、学校設置基準、教育条件整備
特別2	特別2 精神障害のある人の生活と支援	当事者、家族の実態とねがい、支援者と連帯した取り組み、運動 など
特別3	特別3 なかまの分科会	くらしやしごと、いきがいやこれからの夢などを話しあいます

分科会レポートの提出について

- ①レポートを予定している人は全国事務局に「レポート作成の手引き」を請求してください。レポート手引きをもとに、**6月13日(金)**までに「レポート提出計画書」の提出をお願いします。
- ②「手引き」にある「プライバシーの保護に関する留意事項」を守り、所定の形式で **7月1日(水)**までに全国事務局に提出してください。レポートは参加者に配布される「大会要項・レポート集」に掲載し、参加者に配布します。
- ◎事前連絡のない“当日持込”は、分科会では発表できません。

参加費

※全国大会は、みなさんの参加費で運営しています。

○会員 6,500 円

○一般 7,500 円

○配信視聴限定 5,500 円

*「配信視聴限定」の参加費は大会報告集代を含む

○障害者・学生（会員） 3,500 円

○障害者・学生（一般） 4,000 円

* 参加費はいずれも全体会及び学習講座の録画配信（8/10～9/30）の視聴代を含んでいます。

* 会場参加者で「大会報告集」（2,200円・税込 送料サービス）を希望される方は申込時に予約することができます。

* 参加申込時に全障研に年会費3,000円（年会費3,000円）することもできます。

* 録画配信（全体会及び学習講座）の視聴だけでの参加を希望される場合は「配信視聴限定」でお申し込み下さい。ただし、障害者・学生の方は録画配信視聴のみを希望される場合も「障害者・学生（一般）」あるいは「障害者・学生（会員）」でお申し込み下さい。

* 会場参加でない「配信視聴限定」の方の「要項・レポート集」は電子版（PDF）のみとなります。「大会報告集」（12月刊行予定）をお送りします。

* 宿泊、弁当の受付は行いません。各自で手配、用意してください。

参加申込方法

申込締切日

7月20日（月）

全障研ホームページで案内する**申込フォーム（ウェブサイト）**からの申込となります。（6月1日 受付開始）

◎「当日参加」はありません。必ず事前申し込みをお願いします。

【大会参加の申込の案内はこちら】

■ 申込手順

<https://www.nginet.or.jp/>

①事前の準備・確認をする

- ・申込の登録メールアドレスあてに全障研あるいは受付フォームよりメールを送信します。
- ・全障研と受付フォーム（@nginet.or.jpと@form.runのドメイン）からのメールを受け取れるように設定してから申込をお願いします。
特にdocomo.ne.jp ezweb.ne.jp softbank.jp など携帯会社のキャリアメールをお使いの場合は必ず確認をしてください。
- * 携帯電話各キャリアでの設定方法については全障研ホームページに掲載している資料も参考にしてください。

②申込みをする（6月1日から7月20日まで）

- ・申込みサイトにパソコンかスマホでアクセスして、必要事項を記入して申込みをしてください。
- ・参加者ごとに申込みください。なお、申込の重複を避けるために同じ端末から複数回の申込はできません。ご注意ください。
- ・必須事項はもれなく記入してください。（メールアドレスは正確に。住所は建物名・部屋番号、施設名などももれなく）
- ・分科会の変更、メールアドレスなどの変更は後日でも可能です。メールでご連絡ください。
- ・参加費の振り込みが申込者と異なる場合（公費、法人、代表者がまとめてなど）は振込者の「名義人」をご記入ください。
- * 集団での「配信視聴限定」参加を希望される場合は、代表者のお名前でお申し込みください。折り返し、担当者から詳細をお伺いする連絡をします。

③返信メールを確認する

- ・申込受付の確認メール（自動返信）を登録メールアドレスあてにお送りします。届かない場合はすぐに全国事務局にメールか電話でご連絡ください。
- ・メールサーバやメールソフトによっては「迷惑メール」フォルダや「プロモーション」フォルダに仕分けされることもあるので、確認ください。

④参加費（保育・なかまのつどい費なども含めて）を指定口座に振り込む（7月24日まで）

- ・振込料金についてはご負担をお願いします。
- ・公費、法人、複数人でまとめた振込については事務局にメールでご連絡をお願いします。
- ・入金を確認後にメールで「参加証」をお送りします。印刷するかスマホに保存し、当日受付で提示してください。

■ キャンセル、悪天候等による開催中止の場合など

- ・入金後の返金はできません。
- ・開催を中止する場合は、原則として前日の17時までに決定して、全障研のホームページ（<https://www.nginet.or.jp>）で発表します。
- * 開催を中止した場合は、参加費は返金できません。後日、大会準備委員会より「大会要項・レポート集」を送ります。

【保育、なかまのつどいを希望される場合】

○参加申込と合わせて、**6月30日** までに参加申込をお願いします。申込者には後日、準備委員会から詳細についてお伺いします。

◎**保育（小学生以下）・なかまのつどい（中学生以上の障害のある青年成人）**の方は大会参加費は必要ありません。別途、保育・なかまのつどい費と弁当代（希望者）が必要となります。大会参加費と合わせて指定口座への振込をお願いします。

受付＝大津市民会館・大津公民館

保育・なかまのつどい費（保険料込）

1日あたり500円

弁当（2日目 希望者のみ）

保育＝500円、なかまのつどい＝750円

【移動支援、情報保障などのサポートを希望される場合】

○参加申込と合わせて、**6月30日** までに参加申込をお願いします。申込者には後日、準備委員会から詳細についてお伺いします。

【「学生・わかもの交流会」に参加を希望される場合】

○昨年に引き続き今年も、大会に参加する学生・わかものを対象とした「交流会」を開催します。今大会では分科会会場が分散しているので、対面での交流は1日目の全体会後を予定しています。また、事前及び事後にはオンラインでの交流も行います。「視聴限定」の学生・わかものみなさんにも参加いただけます。

◎希望者は参加申込時に「学生・わかもの交流会」参加欄にチェックを。

* バリアフリーのホテル・移動に関する相談は現地準備委員会へ